

報道関係各位

学校法人京都薬科大学 次期学長の決定について

学校法人京都薬科大学は、赤路 健一学長の任期満了(2026 年 3 月 31 日)に伴い、2025 年 12 月 19 日の理事会において、現在、和歌山県立医科大学 薬学部 教授である平田 収正氏を次期学長として選出いたしましたので、お知らせいたします。

なお、任期は、2026 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日までの 4 年間です。

【次期学長 略歴】

- | | |
|----------|---|
| 1. 氏 名 | <small>ひらた かずまさ</small>
平田 収正 (68 才)【新任】 |
| 2. 現 職 | 和歌山県立医科大学 薬学部 教授 |
| 3. 最終学歴 | 大阪大学大学院薬学研究科応用薬学専攻博士後期課程修了 |
| 4. 学 位 | 薬学博士(1987 年) |
| 5. 専門分野 | 応用環境生物学 |
| 6. 任 期 | 2026 年 4 月 1 日～2030 年 3 月 31 日(4 年間) |
| 7. 略 歴 等 | 別添参照 |

本件に関するお問い合わせ先

京都薬科大学 企画・広報課
担当: 山口、仲達
TEL: 075-595-4691 FAX: 075-595-4750
kikaku@mb.kyoto-phu.ac.jp

平田 收正氏の略歴等

【学 歴】

- 1982 年 3 月 京都薬科大学薬学部生物薬学科 卒業
- 1984 年 3 月 大阪大学大学院薬学研究科応用薬学専攻博士前期課程 修了
- 1987 年 3 月 同 博士後期課程 修了 薬学博士(大阪大学)

【職 歴】

- 1987 年 4 月 大阪大学薬学部 文部技官
- 1987 年 5 月 同 助手
- 1992 年 3 月 文部省在外研究員(ドイツ・ミュンヘン大学)(～1993 年 1 月)
- 1993 年 6 月 大阪大学大学院薬学研究科 助教授
- 2006 年 4 月 同 教授
同 附属実践薬学教育研究センター長(～2012 年 3 月)
- 2008 年 4 月 同 副研究科長(～2012 年 3 月)
- 2013 年 4 月 同 附属薬用植物園長(～2021 年 3 月)
- 2014 年 4 月 大阪大学 グローバルコラボレーション・センター長(～2016 年 3 月)
- 2015 年 5 月 大阪大学大学院薬学研究科 附属薬学地域医療教育研究センター長
(～2020 年 3 月)
- 2015 年 9 月 大阪大学 副理事(～2019 年 8 月)
- 2017 年 10 月 大阪大学大学院薬学研究科 先進健康科学(サラヤ)共同研究講座
兼任教授(～2021 年 3 月)
- 2018 年 5 月 同 副研究科長(～2021 年 3 月)
- 2019 年 9 月 大阪大学 総長補佐(～2021 年 3 月)
- 2021 年 3 月 同 退職 大阪大学名誉教授
- 2021 年 4 月 和歌山県立医科大学薬学部 教授(副学部長)

【受賞歴】

- 2002 年 武田研究奨励賞 優秀賞
- 2009 年 生物工学会論文賞
- 2015 年 大阪大学総長顕彰 教育部門

【主な著書】

1. 平田收正, 三浦喜温. ニチニチソウ培養細胞の凍結保存. in 凍結保存(酒井昭編), pp.183-185, 朝倉書店, 東京 (1987).
2. Hirata, K., Miyamoto, K., Miura, Y. *Catharanthus roseus* L. (Periwinkle): Production of vindoline and catharanthine in multiple shoot cultures. in Biotechnology in Agriculture and Forestry, Vol. 26, Medicinal and Aromatic Plants VI (edited by Bajaj, Y. P. S.), pp. 46-55, Springer-Verlag, Heidelberg (1994).
3. Hirata, K., Phunchindawan, M., Sakai, A., Miyamoto, K. Cryopreservation of *Armoracia rusticana* P. Gaert., B. Mey. et Scherb. (horseradish) hairy root cultures. in Biotechnology in Agriculture and Forestry, Vol. 50, Cryopreservation of Plant Germplasm II (edited by Towill, L. E. and Bajaj, Y. P. S.), pp. 57-65, Springer-Verlag, Heidelberg (2001).

4. 平田收正, 永瀬裕康. 微細藻類による排水からの有害重金属除去. in 植物機能のポテンシャルを活用した環境保全・浄化技術 (池道彦, 平田收正 監修), pp. 38-44, シーエムシー出版, 東京 (2011).
5. Hirata, K. and Miyasaka, H. Biosensors for Toxic Heavy Metals. in Handbook of Metal Biotechnology: Applications for Environmental Conservation and Sustainability (edited by Ike, M., Yamashita, M., and Soda, S.), pp. 179-194, Pan Stanford, Singapore (2012).
6. 平田收正. 第1章大学における学修とは. 第I部 私たちはどのようにして大学で薬学を学ぶのか, in 新スタンダードシリーズ第1巻モデル・コア・カリキュラムで学ぶ薬学 (新スタンダード薬学シリーズ編集委員会編). pp. 3-16, 東京科学同人, 東京 (2024).

【学会における主な活動】

日本薬学会 教育賞選考委員会委員長、Journal of Health Science 編集委員、
関西支部幹事 等

薬学教育学会 設立時社員、理事、第4回薬学教育学会大会実行委員長 等

日本生物工学会 Journal of Fermentation and Biotechnology 編集委員、評議員 等

【薬学教育に係る学外での主な活動】

2010 年 日本薬学会薬学教育改革大学人会議委員

2011 年 日本薬学会薬学教育委員会委員

薬学教育協議会薬学教育者ワークショップ実施委員会（現 実務実習指導薬剤師養成研修委員会）委員長

2012 年 薬学教育評価機構評価委員会委員長

2013 年 日本薬学会モデルコア・カリキュラム改訂調査研究委員会委員

2018 年 薬学教育協議会業務執行理事（学術正会員）

2021 年 文部科学省薬学部教育の質保証専門小委員会委員

2022 年 文部科学省薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門研究
委員会委員

2024 年 薬学教育評価機構薬学教育質保証委員会委員長